

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	主要地方道岡崎設楽線				
事業箇所	愛知県新城市作手善夫～作手菅沼地内				
事業のあらまし	<p>主要地方道岡崎設楽線は、岡崎市を起点とし旧作手村を經由し、設楽町に至る延長 56.5km の路線であり、国道 301 号や国道 473 号と接続し、山間部の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は線形が不良で見通しが悪く、狭隘区間で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。また、歩道が設置されていないことから、歩行者を含めた交通安全の面でも課題となっている。</p> <p>このため、「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、国道 473 号、国道 301 号等のネットワーク強化、生活道路の安全性の確保を主な目的として、主要地方道岡崎設楽線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H18)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 18 年度～34 年度	平成 18 年度～34 年度		
	事業費（億円）	10.0	10.0		
	経費内訳	工事費	9.2	9.2	
		用補費	0.2	0.2	
その他		0.6	0.6		
事業内容	バイパス整備 L=0.7km W=10m 1/2→2/2 車線	バイパス整備 L=0.7km W=10m 1/2→2/2 車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道は幅員が狭く、急カーブもあり、自動車の安全性、走行性が懸念される状況である。 ・当該路線は地域の生活道路として機能しているとともに、通学路となっているため、安全性の確保が必要とされている。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基礎整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパスの整備中であるが、線形が不良で見通しが悪く、狭隘区間で車両のすれ違いが困難であることから、依然として整備の必要性は高い状況である。 <p>②交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道区間は歩道が設置されておらず、歩行者の安全性を確保する観点から、依然として整備の必要性は高い状況である。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の円滑化及び安全性の確保のため、引き続き整備の必要性がある。 			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		
		<p>【理由】</p> <p>交通の円滑化及び安全性の確保のため、事業の必要性は依然として高い状況にあるため。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H18~ H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td colspan="10">↔</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費 (億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5">3.0</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="5">5.6</td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table> 【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>-</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>-</td> <td>5.6</td> <td>-</td> <td>10.0</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>-</td> <td>4.9</td> <td>-</td> <td>9.2</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>0.6</td> <td>83%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、100%</p>													H18~ H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	工種区分	調査・設計	↔											用地補償	↔											工事		↔										事業費 (億円)	計画						3.0					1.4	実績	5.6													これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	-	0.0	-	0.7	0%	事業費(億円)	-	5.6	-	10.0	56%	工事費	-	4.9	-	9.2	53%	用補費	-	0.2	-	0.2	100%	その他	-	0.5	-	0.6	83%
			H18~ H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																																																				
	工種区分	調査・設計	↔																																																																																																																														
		用地補償	↔																																																																																																																														
		工事		↔																																																																																																																													
	事業費 (億円)	計画						3.0					1.4																																																																																																																				
		実績	5.6																																																																																																																														
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																												
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																											
	延長(km)	-	0.0	-	0.7	0%																																																																																																																											
事業費(億円)	-	5.6	-	10.0	56%																																																																																																																												
工事費	-	4.9	-	9.2	53%																																																																																																																												
用補費	-	0.2	-	0.2	100%																																																																																																																												
その他	-	0.5	-	0.6	83%																																																																																																																												
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> 完了予定年度に変更なし。 																																																																																																																																
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 <ul style="list-style-type: none"> 地元より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 <ul style="list-style-type: none"> 平成34年度までに整備が完了する予定である。 																																																																																																																																
判定	<p>A</p> <p>A: 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。</p> 【理由】 <ul style="list-style-type: none"> 事業は順調であり、予定通り平成34年度までに整備完了が見込まれるため。 																																																																																																																																
III 対応方針																																																																																																																																	
継続	中止: 上記①~③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続: 上記以外のもの。																																																																																																																																

IV 再評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・交通量（全車、大型車）、旅行速度、安全性の改善状況